

囲いやま森の会 活動記録

2008.1.5 野口 功

日 時: 2007.1.5 (土) 10~12時 天気: 曇り

参加者 新井 池田 岩田 木村 土田 野口 羽根 増田 三嶋 山口 山田
11名

新年早々、今年の最初の定例活動日。まずは、森の中を一巡し、様子を確認しました。木々の葉はすっかり落ちて、空が透けて見えます。落葉樹の葉がないために、樹冠部はスギ、中段はシラカシ、下部は再び伸びはじめたアオキが目につきます。緑のなかに、アオキの赤い実が可愛らしいです。

ヤブを覆うつる草も枯れているので、久しぶりに東南部のヤブの中を踏破しました。カナムグラやカラスウリ、ヤブガラシなどの枯れたつるを切り払い、アズマネザサとノイバラのヤブを押し分けて、竹林の近くまで進みました。ここには、大きな窪地があり、枯竹が積み重なっています。低地で地面が湿っており、枯竹を整理すれば、陽の当たる草地とは別の植生になりそうな感じがします。

ここから北方向に向かうと、アズマネザサが密生している中に、穴を掘って回りに土を積上げたような窪みがいくつかあります。アズマネザサが密生しているのでよく分かりませんが、刈った枝葉などを投入している穴と同じように、造られたものかもしれません。いずれにしてもこのヤブは、ウグイスなどの棲家としても必要なので、そのままにしておきたいと考えています。

藪こぎのあと、倉庫前の広場で、温かい甘酒を飲みながら懇談しました。

「2~3月ころ、キノコの種付けをしよう」 「秋にドングリを集めて、苗木を育てて、杉などを切ったあとに植樹を」 「南の草地のあたりにヤマザクラを植えてシンボルツリーに」 「毎回の観察記録を編集してミニ本にしたら」など、話に花が咲きました。

連絡事項

次回の定例活動 1月15日(火) 可能ならば、台風で倒れかかったハリエンジュの大木を除伐予定
東葛里やまシンポジウム: 2月10日(日)13時30分~ 松戸市民会館 (チラシ添付を参照)

参加費: 無料、皆さんと参加しましょう!



囲いやま森の会 活動記録

2008.1.15 野口 功

日 時: 2008.1.15 (火) 10～12 時 天気: 晴

参加者 新井 池田 岩田 小嶋 土田 西澤 野口 増田 山口 山田 けやき
福山 (新会員) 三嶋
応援 岡部 佐竹 高木 16名

寒い日でしたが、里やま応援団の応援を得て、懸案だった台風被害木のハリエンジュを除伐しました。

活動内容

ハリエンジュの除伐

昨年9月の台風で根本から倒れたハリエンジュは、二又の大枝がそれぞれ別の木にかかっており、作業の難航が予想されたため、葉が落ちて状況が確認できる冬まで、除伐作業を延期していました。

除伐は、ハリエンジュの根本をチェーンソーで切り、切ったすぐ上をロープで引いて、かかった木からはずして引き落とすという作業になりました。かなりの力を必要とするので、直接引くのではなく、除伐対象木に滑車をつけて、V字形にロープを張り、一端を離れた太い木に縛り、他の一端をチルホールに連結しました。これにより、引く力は2倍になります。500kg対応のチルホールを2基使用。あわせて2トンの力まで耐えることができます。切り口が土に食い込まないように、根本に材木を置きました。切った直後はうまく材木の上に乗りましたが、引いているうちに材木から外れて地面に食い込み、難航しました。結局、約10mほど引いたところで、ようやく引き落とすことができました。その際、大枝の1本が折れて、上部が木にかかって残ったため、梯子をかけて、手鋸で切りはずしました。倒した木は、長さ18m、胸高直径40cm、樹齢40年程度。幹はほとんど痛んでいませんでしたが、根張りが悪くて、強風に耐えられなかったようです。幹は玉切りし、テーブルの周りに立ててベンチとしました。

作業後、土田さんが作ってこられたキンカンの甘露煮(三嶋さん宅のキンカン)にお湯を注いだ飲み物で、温まりました。甘くて、とてもおいしかったです。

報告事項

石川さんに新年の挨拶をして、森の音楽会・年末清掃の報告書、緑ネット通信No.19などの活動報告をお届けしました。「お正月に熊野神社に行ったとき、森の方を見て、とてもきれいになっていて、感謝しています」とのお話をいただきました。

連絡事項

次回定例活動 2月2日(土) 10時～

東葛里やまシンポジウム 2月10日(日)13:30～16:30 松戸市民会館で開催、参加費＝無料

交流懇親会 17時～ ニュートーキョープラザ(松戸駅東口 サンクス2階) 参加費＝4,000円



千ルホール：2基使用

園 いやま森 の会

ハリエンジュの除伐

2008.1.15(火)

昨年の台風で倒れた危険木の除伐作業
長さ：18m、直径：40cm、樹齢 40 年程度



危険木



作業前



作業後



皆さんの協力で作業を行いました

囲いやま森の会 活動記録

2008.2.6 野口 功

参加者 青山 新井 池田 牛尾 木村 土田 西澤 野口

野口 y 馬場 増田 三嶋 山口 山田

14名

日 時: 2008.2.2 (土) 10～12時 天気: 曇り

すっかり落葉した森の中は、明るく陽射しの温もりを感じさせ、モグラ塚を踏みながら心地よい土の香りも漂ってきます。みどりや可愛い花の咲く姿が見えないけれど～、南の広場にはコハコベの緑のジュウタンがピッシリと生え、オオイヌノフグリの可憐な花やヒメオドリコソウの見目麗しい花が咲き始めました。冬芽は色づいて葉痕劇場を観るようであり、シュンランの花芽もしっかりと伸びて、枯れ葉の下ではスミレの葉が青々と元気に息づいています。

活動内容

南広場と草地の間の下刈りをもう少し広げました。アズマネザサやアオキ、シュロ、シラカシの幼樹などを刈り払いました。亜高木としては、シラカシ2本、コナラの枯木2本を伐採しました。南広場のベンチからの見通しがよくなり、素適な広場になってきました。

危険木や景観を考慮した邪魔な木? の選定をして、次回以降の作業にしようと思ひました。北側道路沿いのゴミ拾いと掲示板の部材運搬をして、次回以降に作業します。

連絡事項

次回定例活動 2月19日(火) 10時～

シイタケ栽培の種菌などが入手できたら、作業予定となります。

東葛里やまシンポジウム 2月10日(日)13:30～16:30 松戸市民会館で開催 参加費 = 無料

高木さんの「剪定勉強会」2月15日(金)9:30～

小金原3丁目の根木内小学校隣 やまばと公園前 田中玉枝さん宅にて



南広場の下草刈り作業



森の雪景色もすばらしい!



囲いやま森の会 活動記録

2008.2.20 野口 功

参加者 新井 池田 木村 小嶋 西澤 野口 馬場 三嶋 けやき
山口 山田 11名 岡部 須藤 2名 13名
日 時: 2008.2.19 (火) 10～12 時半 天気: 晴

風もなく、暖かで、屋外活動日和でした。森のあちこちには、この前の強風で折れた枝が、上空の木にかかったり、地上に落ちていました。

活動内容 シイタケ菌の駒打ち

前に切ったコナラやイヌシデの枝に、シイタケの駒うちをしました。太いもの、細いもの、あわせて30本以上。駒800個(森209号・通称「にくまる」)。コナラやイヌシデだけでは足りなかったのも、シラカシの枝も何本か使いました。シラカシの枝は、まだ乾燥が不十分なので、どうなりますか。

- ①重たい発電機やチェーンソー、ドリル、ハンマーなどを南の広場に運搬。
草地に積んでおいた枝を、南広場に運搬
- ②枝を、1m前後に切り、専用ドリルで穴あけ。縦方向20cm間隔、周囲方向5cm間隔で。
ドリルに慣れていない人も、たちまちコツをつかみました。少し間隔が広すぎたかな?
- ③穴に、シイタケ菌のついた木の駒を打ち込む
- ④自分でやった枝に、日付と名前を記入
- ⑤平積みにして、水をかけ、保湿のために覆う

<今後の予定>

- ⑥4月頃、斜めに立てる本伏せにする
- ⑦来年秋以降に収穫できる。うまくいけば、数年つづけて収穫が期待できるとのこと。

*道路沿いのゴミ拾いもしました。(新井さん)

連絡事項

- ①来年度もこれまでどおりスポーツ保険を継続したいと思います。
保険料は年間500円(会費で負担)。特に申し出がない限り、全員加入継続します。
- ②南広場と草地の間の切り開いた区域は、陽が当たるようになり、新たな芽生えが期待されます。
これまでの作業で少し踏み固められてしまったので、特に必要のない限り、通路以外には立ち入らないようにします。
- ③次回活動 3月1日(土)10時～
- ④3月3日(月) 5期の活動が予定されている千駄堀の森の下見会。10時、八柱駅北口集合。
- ⑤3月7日(金) 自然教育園(港区白金台)で、自然豊かな園内の自然観察と生態学講座「植物群落の遷移とその人為的管理」の受講 参加者は、根っ子の会の皆さんと併せて15名。
- ⑥4月6日(日) 春の法華経寺散策と夢おとぎスライドショー 参加費300円。
9時下総中山駅集合、15時頃解散。 参加希望者は、山田幸子さんに連絡ください。

報告事項

- ① 2月10日の「東葛里やまシンポジウム」は、里やま応援団グループの参加もあり、154名の参加者で、会場が満杯の盛況でした。スタッフの皆さん、ご苦労様でした。

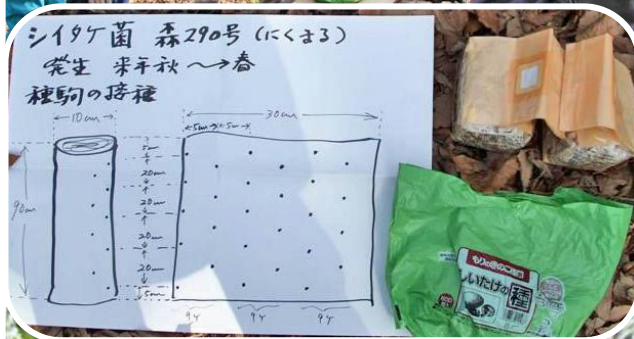
山口さんの指導で作業開始



囲いやま森の会

シイタケの駒打ち作業
2008.2.19 (火)
クヌギ・イヌシデの枝
駒 800 個

シイタケ菌 森290号 (にくまろ)
発生 采年秋→春
種駒の接種



私の作品です



穴開け作業



皆で楽しく作業をやりました！



駒打ち作業

囲いやま森の会 活動記録

2008.3.3 野口 功

参加者 土田 西澤 野口 馬場 増田 山口 山田

7名

日 時: 2008.3.1(土) 10~12時(~15時) 天気: 晴 小雨 晴

大分春めいてきました。風もなく、暖か。木々の芽も膨らんできて、なんとなく梢が色づいてきた感じがします。小鳥たちも、元気に飛び回っていました。数日来的強風で、折れた枯枝がたくさん落ちていましたが、さほど大きな被害もなく、ホッとしました。

南の草地は、一面、緑のハコベの絨毯。オオイヌノフグリやヒメオドリコソウなどが咲いています。昨年の除草の成果か~、カナムグラなどがあまり見えません。とても暖かな陽だまりになっています。

活動内容

前回、シイタケの種駒を植えたホダ木に、たっぷり水をかけました。この時期、乾燥気味で、湿度の保持が大切だそうです。

南の草地に、前回伐採したシラカシなどが積まれていたので、整理しました。草地の隅に、太い枝で囲いをつくり、そこに枝葉を積みました。まだ少ないですが、昆虫などの住処となるビオネストを想定しています。

太い枝は、杭として打ち込みましたが、なかなか入りません。硬いものに当たってはいないようですが、何かが埋まっているような感じです。

午後、看板の柱にする丸太(ムクノキ)に、横材を通すホゾ穴をドリルト鑿であけました。

連絡事項

次回の定例活動日 3月18日(火)10:00~

総会: 2007年度の報告、2008年度の計画、会計報告、役員改選など

4月15日(火)10時~ (場所は後日連絡します)

新年度の保険について

ボランティア活動保険(年間500円)に引き続き加入するので、継続の方は確認願います。

野口に連絡ください。(3月9日まで)

松戸里やまクラフトの会のお誘い(第1回)

3月29日(土)13時~ (定例日は毎月最終土曜日の午後)

野口宅の工作室・駐車場(八ヶ崎5-38-3) 定員:10名(申込先着順)



囲いやま森の会 活動記録

2008.3.22 野口 功

日 時: 2008.3.18(火) 10～12時半(～14時半) 天気: 曇り

参加者 小嶋 高鳥 土田 西澤 野口 馬場 増田 山口 山田 9名
高木 1名

活動内容

馬場さんの案内で、シュンランの花芽やアマナの芽生えなどを確認しました。
里やま応援団・高木さんの応援を得て、エゴノキの枯木2本、溝腐病のスギ1本を伐倒しました。
前に切ったスギの枝などを処理しました。
午後、看板の横木にする丸太のホゾ切りをしました。

連絡・報告事項

次回の定例活動日 4月5日(土)10:00～

総会: 2007年度の報告、2008年度の計画、会計報告、役員改選など
4月15日(火)13時～ (場所: 金ヶ作会館会議室)
午前中は、定例活動を行ないます。

新年度の保険について

ボランティア活動保険(スポーツ安全保険 年間500円)に22名の登録をしました。
昨年の里やまボランティア講座受講生は、「里やま・千駄堀」(: ファイブ)を結成し、千駄堀の森で活動を開始することになりました。定例日は第2・第4火曜日。
4月22日(火)10時から、森のごみ清掃を行ないます。応援をお願いします。
高塚新田の八幡神社参道沿いの樹林について、地権者からボランティアによる整備を受け入れたいとの表明があり、協定書の検討を進めています。活動予定が具体化した段階で参加を呼びかけます。

松戸里やまクラフトの会のお誘い(第1回)

3月29日(土)13時～ (定例日は毎月最終土曜日の午後)
野口宅の工作室・駐車場(八ヶ崎5-38-3) 定員: 10名(申込先着順)



スギの伐倒



エゴノキの伐倒



ミズキの伐倒